

ジャナス米国中小型成長株ファンド（年4回決算型）

<愛称：ネクストドリーム>

追加型投信／海外／株式

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として米国の中小型株式に投資し、信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行いました。

ここに、運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2025年7月24日～2026年1月23日

第40期	決算日：2025年10月23日	
第41期	償還日：2026年1月23日	
償還日 (2026年1月23日)	償還価額	10,765.47円
	純資産総額	1,919百万円
第40期～ 第41期	騰落率	17.3%
	分配金合計	0円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

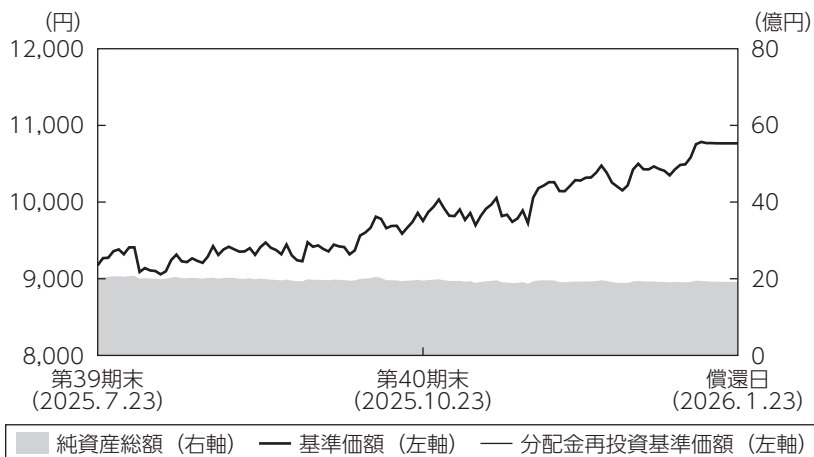
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <https://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第40期首： 9,175円
 償還日： 10,765.47円
 (既払分配金0円)
 騰落率： 17.3%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

当期

底堅い米国経済や政策金利の引き下げなどを背景に米国中小型株式市場が上昇したことに加え、米ドルが円に対して上昇したことが基準価額にプラスに寄与しました。業種別では、関税を含む政策の不透明感が緩和され、企業の合併・買収（M&A）が活発化したことなどを背景に、ヘルスケアセクターが大きくプラスに寄与しました。また、設備投資需要の回復を受け、資本財・サービスセクターもプラスに寄与しました。

設定来

設定来では、対円で米ドルが上昇し為替要因がプラスとなったほか、株価上昇により株式要因もプラスとなり、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第40期～第41期		項目の概要
	(2025年7月24日 ～2026年1月23日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	101円	1.026%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,817円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(54)	(0.554)	
(販売会社)	(44)	(0.444)	
(受託会社)	(3)	(0.028)	
(b) 売買委託手数料	1	0.007	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(1)	(0.007)	
(投資証券)	(0)	(0.000)	
(c) その他費用	4	0.043	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
(保管費用)	(4)	(0.041)	
(その他)	(0)	(0.002)	
合計	106	1.075	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

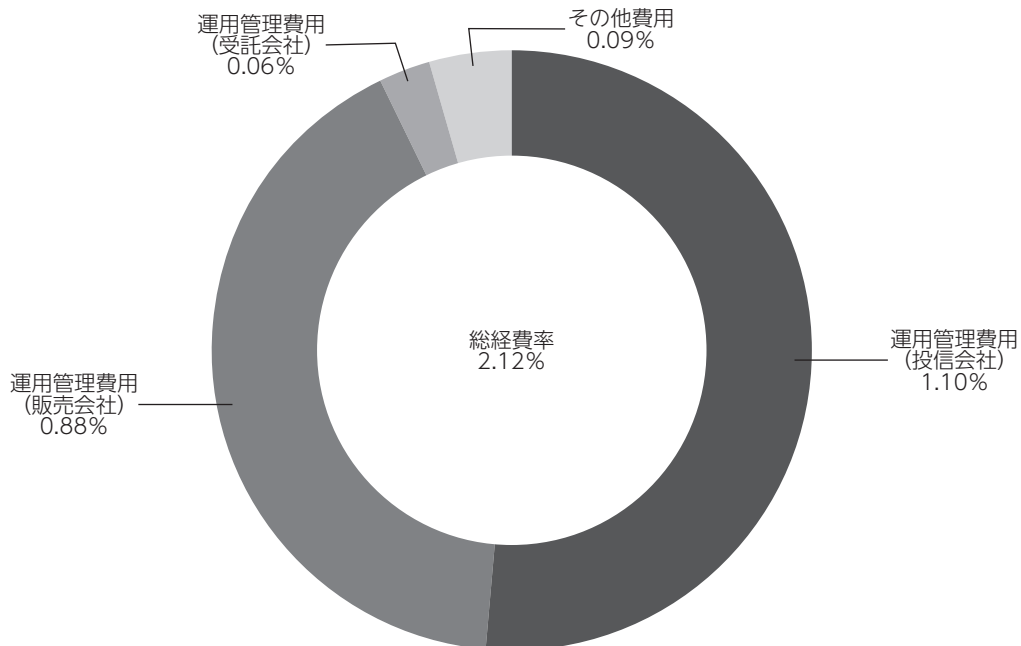
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.12%です。



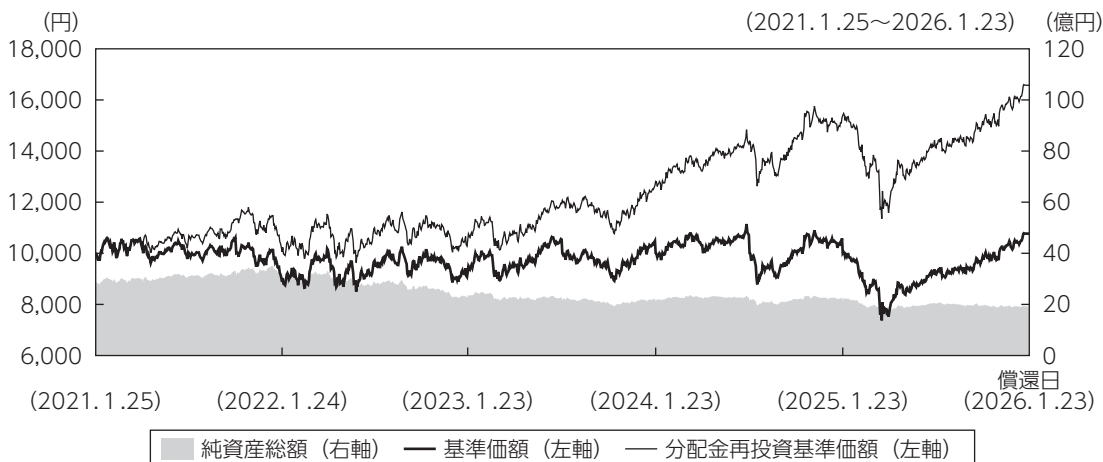
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2021年1月25日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2021年1月25日 期首	2022年1月24日 決算日	2023年1月23日 決算日	2024年1月23日 決算日	2025年1月23日 決算日	2026年1月23日 償還日
基準価額 (分配落)	(円) 10,000	8,883	9,267	10,001	10,001	(償還価額) 10,765.47
期間分配金合計 (税引前)	(円) —	1,276	0	1,272	1,891	0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%) —	0.6	4.3	22.1	20.1	7.6
参考指数の騰落率	(%) —	△10.9	6.1	27.0	27.6	15.4
純資産総額	(百万円) 2,557	3,038	2,314	2,120	2,151	1,919

- (注) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数はRussell 2500グロースインデックス (円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし) であり、算出にあたっては米ドルベース指数をもとに委託会社が独自に円換算しています (以下同じ)。参考指数については後掲の<当ファンドの参考指数について>をご参照ください。

設定来の投資環境

米国中小型株式市場は、2015年から2016年にかけてチャイナショックや英国の欧州連合離脱選択を背景に軟調に推移しましたが、2016年11月の米トランプ大統領の当選を受け回復しました。2017年からは、米中貿易摩擦や米金利上昇などが懸念され、下落する局面もあったものの、緩やかな上昇基調が続きました。2020年にはコロナショックで急落後、積極的な財政出動や金融緩和策に支えられ反発しました。

2021年から2022年は急激な利上げを背景に軟調な展開となったものの、2024年にかけては、緩和的な金融政策への転換を受けて大型テクノロジー株を中心に急激に上昇しました。2025年初には第2次トランプ政権による関税政策を巡り世界的な景況不安が高まり下落しましたが、償還日にかけて下落幅を回復し、上昇に転じました。

為替市場は、2015年から2016年にかけてはチャイナショックや米国の景気悪化懸念などを受けて乱高下しました。その後は比較的安定して推移しましたが、ロシアによるウクライナ侵攻などを背景に、インフレ抑制のため金融引き締めで舵を切った米国とマイナス金利政策を続ける日本の金融政策の違いが意識され、2022年3月頃から大幅に円安ドル高が進みました。その後、日銀の政策方針を受けて円高に振れる局面はあったものの、総じて円安ドル高基調を維持しました。

設定来のポートフォリオについて

●当ファンド

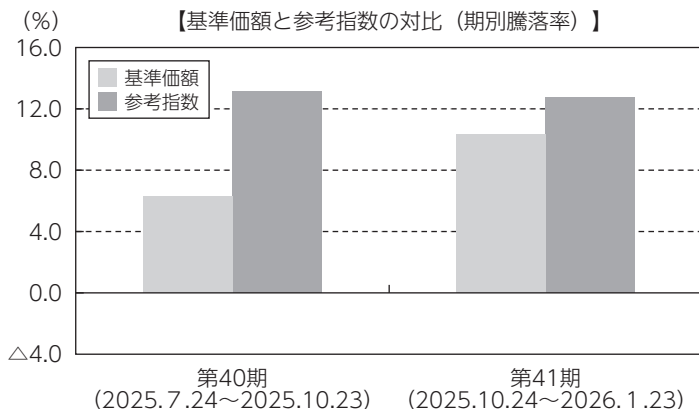
運用期間を通じて、米国中小型株式ファンド・マザーファンドの組入比率は高位を維持しました。

●米国中小型株式ファンド・マザーファンド

当ファンドでは、変化に柔軟に対応できる企業に着目し、強固な財務基盤、安定したキャッシュフロー、高い資本利益率を有する成長企業への投資を行いました。特に、安定した成長力を持つ企業や、循環的な市場環境に耐性を持つ企業、イノベーションやビジネスモデルの進化を通じて成長を遂げる企業を重視しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドはベンチマークを定めておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数であるRussell 2500グロースインデックス（円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし）の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

収益分配金につきましては、運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたしました。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第40期
	2025年7月24日 ～2025年10月23日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	580円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

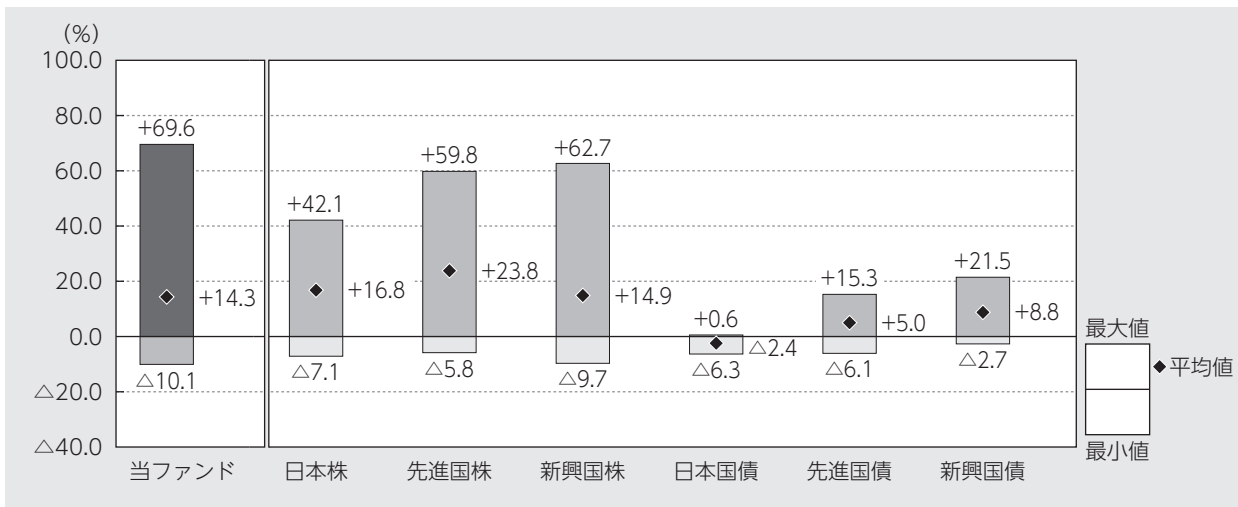
(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

このたび償還を迎えるにあたりまして、当ファンドへのご愛顧に心より感謝申し上げますとともに、今後とも一層のお引立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2015年11月18日から2026年1月23日までです。	
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。	
主要投資対象	ジャナス米国中小型成長株ファンド（年4回決算型）	米国中小型株式ファンド・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	米国中小型株式ファンド・マザーファンド	米国の中小型株式を主要投資対象とします。
運用方法	<p>マザーファンドの組入比率は、原則として高位を保ちます。 実質的な組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。 マザーファンドにおける銘柄選択にあたっては、個別企業の徹底したファンダメンタル分析に基づき、差別化されたビジネスモデルと持続可能な競争優位を有する成長企業に着目します。 ポートフォリオの構築にあたっては、成長性やリスク特性に応じた魅力度により配分比率を決定し、流動性等を勘案し100銘柄程度に分散投資します。 マザーファンドの株式等の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・U.S.・エルエルシーに運用の指図に関する権限の一部を委託します。 株式の組入比率は、原則として高位を保ちます。</p>	
分配方針	<p>決算日（原則として1月23日、4月23日、7月23日および10月23日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。 決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超える場合には、当該超過部分について分配対象額の範囲内で全額分配を行うことをめざします。ただし、資金動向や市況動向等により上記のとおりとならない場合があります。</p>	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2021年1月～2025年12月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものととして計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

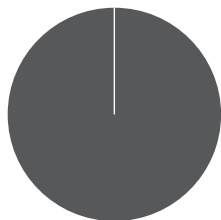
※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2026年1月23日現在）

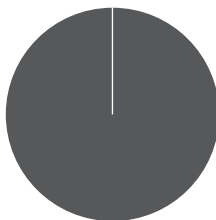
当ファンドに組入れておりました親投資信託受益証券は作成中に全て解約いたしました。

◆資産別配分



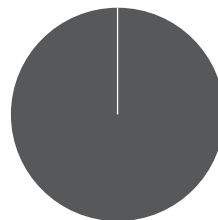
その他
100.0%

◆国別配分



その他
100.0%

◆通貨別配分



その他
100.0%

(注1) 比率は償還時における純資産総額に対する割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。

純資産等

項目	第40期末	償還時
	2025年10月23日	2026年1月23日
純資産総額	1,952,277,322円	1,919,690,946円
受益権総口数	2,001,558,396口	1,783,193,085口
1万口当たり基準（償還）価額	9,754円	10,765.47円

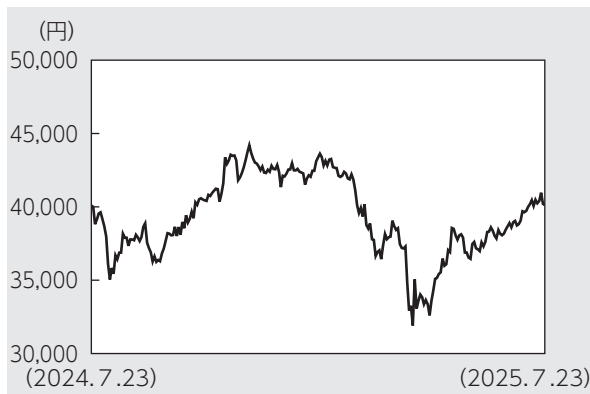
(注) 第40期～償還時における追加設定元本額は1,017,262円、同解約元本額は430,017,799円です。

組入ファンドの概要

※償還時における組入ファンドはありません。

【米国中小型株式ファンド・マザーファンド】（計算期間 2024年7月24日～2025年7月23日）

◆基準価額の推移



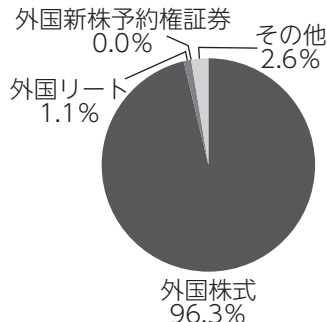
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
SS&C TECHNOLOGIES HOLDINGS INC	アメリカ・ドル	2.8%
MIRION TECHNOLOGIES INC	アメリカ・ドル	2.7
TELEDYNE TECHNOLOGIES INC	アメリカ・ドル	2.6
FLEX LTD	アメリカ・ドル	2.4
SENSIENT TECHNOLOGIES CORP	アメリカ・ドル	2.4
STRIDE INC	アメリカ・ドル	2.2
OSI SYSTEMS INC	アメリカ・ドル	2.1
LPL FINANCIAL HOLDINGS INC	アメリカ・ドル	2.0
ARAMARK	アメリカ・ドル	1.9
CROWN HOLDINGS INC NPR	アメリカ・ドル	1.8
組入銘柄数	114銘柄	

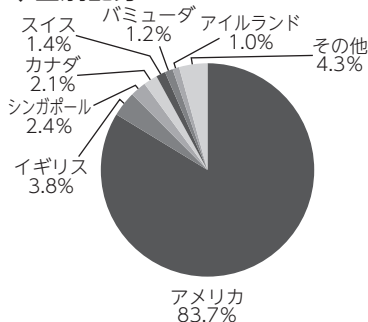
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	13円	0.034%
(株式)	(13)	(0.034)
(投資証券)	(0)	(0.000)
(b) 有価証券取引税	0	0.001
(株式)	(0)	(0.001)
(投資証券)	(0)	(0.000)
(c) その他費用	37	0.094
(保管費用)	(35)	(0.088)
(その他)	(2)	(0.005)
合計	50	0.128
期中の平均基準価額は39,273円です。		

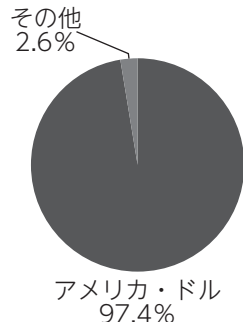
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。

(注6) 国別配分は、発行国（地域）を表示しています。

(注7) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<当ファンドの参考指数について>

●Russell 2500グロースインデックス (円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし)

Russell 2500グロースインデックスとは、FTSE Russellが公表している米国の株価指数です。「FTSE Russell®」はLondon Stock Exchange Group plcおよびそのグループ企業（総称して「LSEグループ」）の関連する企業の商標であり、ライセンスを受けて他のLSEグループの企業にも使用されています。FTSE Russellのインデックスまたはデータに関するすべての権利は、そのインデックスまたはデータを所有する関連するLSEグループの企業に帰属します。LSEグループおよびライセンサ各社はFTSE Russellのインデックスおよびデータに関する瑕疵または不作為に対して如何なる責任も負いません。また、何人も本媒体に含まれるFTSE Russellのインデックスやデータに依存することは許されません。書面に基づくLSEグループの企業の同意がない限りLSEグループのデータを再配信することは許されません。LSEグループは本媒体の内容について販売促進や出資、保証することはありません。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJ P Xが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

(このページは白紙です)

